

欠損	矛盾回答	7	6.7	
値	無回答	3	2.9	
	システム欠損値	77	73.3	
	合計	87	82.9	
合計		105	100.0	

	合計	101	96.2	100.0
欠損	無回答	1	1.0	
値	システム欠損値	3	2.9	
	合計	4	3.8	
合計		105	100.0	

部署の規模(人数)

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効	2	1.0	1.0	1.0
	3	4	3.8	5.0
	4	18	17.1	22.8
	5	6	5.7	28.7
	6	10	9.5	38.6
	7	10	9.5	48.5
	8	5	4.8	53.5
	9	7	6.7	60.4
	10	6	5.7	66.3
	11	2	1.9	68.3
	12	1	1.0	69.3
	13	2	1.9	71.3
	14	4	3.8	75.2
	15	3	2.9	78.2
	16	1	1.0	79.2
	17	1	1.0	80.2
	18	3	2.9	83.2
	19	1	1.0	84.2
	20	2	1.9	86.1
	21	2	1.9	88.1
	22	1	1.0	89.1
	25	1	1.0	90.1
	26	1	1.0	91.1
	27	1	1.0	92.1
	28	2	1.9	94.1
	29	1	1.0	95.0
	30	1	1.0	96.0
	38	2	1.9	98.0
	50	1	1.0	99.0
	51	1	1.0	100.0

部署内の保健師数

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効	0	19	18.1	19.0
	1	19	18.1	38.0
	2	17	16.2	55.0
	3	16	15.2	71.0
	4	11	10.5	82.0
	5	2	1.9	84.0
	6	5	4.8	89.0
	7	3	2.9	92.0
	8	3	2.9	95.0
	10	1	1.0	96.0
	11	2	1.9	98.0
	13	1	1.0	99.0
	14	1	1.0	100.0
	合計	100	95.2	100.0
欠損	無回答	2	1.9	
値	システム欠損値	3	2.9	
	合計	5	4.8	
合計		105	100.0	

部署内の社会福祉士数

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効	0	56	53.3	58.9
	1	24	22.9	84.2
	2	5	4.8	89.5
	3	6	5.7	95.8
	4	3	2.9	98.9
	5	1	1.0	100.0
	合計	95	90.5	100.0
	無回答	7	6.7	

欠損	システム欠損値	3	2.9	
値	合計	10	9.5	
合計		105	100.0	

私たちの部署では、仕事に関連した情報の共有ができています

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効	あまりあてはまらない	6	5.7	5.9
	どちらともいえない	11	10.5	16.7
	ややあてはまる	53	50.5	68.6
	非常に当てはまる	32	30.5	100.0
	合計	102	97.1	100.0
欠損	システム欠損値	3	2.9	
値				
合計		105	100.0	

私たちの部署では、共に働こう、という姿勢がある

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効	あまりあてはまらない	2	1.9	2.0
	どちらともいえない	14	13.3	15.7
	ややあてはまる	52	49.5	66.7
	非常に当てはまる	34	32.4	100.0
	合計	102	97.1	100.0
欠損	システム欠損値	3	2.9	
値				
合計		105	100.0	

私たちの部署では、お互いに理解し認め合っている

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効	あまりあてはまらない	3	2.9	2.9
	どちらともいえない	19	18.1	21.6
	ややあてはまる	51	48.6	71.6
	非常に当てはまる	29	27.6	100.0
	合計	102	97.1	100.0
欠損	システム欠損値	3	2.9	
値				

合計	105	100.0	
----	-----	-------	--

部署の人々は、新しいアイデアを考えたり実行に移すために協力しあっている

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効	あまりあてはまらない	3	2.9	2.9
	どちらともいえない	20	19.0	22.5
	ややあてはまる	54	51.4	75.5
	非常に当てはまる	25	23.8	100.0
	合計	102	97.1	100.0
欠損	システム欠損値	3	2.9	
値				
合計		105	100.0	

部署のメンバーは、出来るだけ最良の成果を出すために、お互いの意見を取り入れ活かしあっている

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効	全くあてはまらない	1	1.0	1.0
	あまりあてはまらない	5	4.8	5.9
	どちらともいえない	17	16.2	22.5
	ややあてはまる	53	50.5	74.5
	非常に当てはまる	26	24.8	100.0
	合計	102	97.1	100.0
欠損	システム欠損値	3	2.9	
値				
合計		105	100.0	

上司は親切心と思いやりをもって私たちに接してくれる

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効	あまりあてはまらない	7	6.7	6.9
	どちらともいえない	17	16.2	23.5
	ややあてはまる	46	43.8	68.6
	非常に当てはまる	32	30.5	100.0
	合計	102	97.1	100.0
欠損	システム欠損値	3	2.9	
値				

合計	105	100.0		
----	-----	-------	--	--

上司は私たちの従業員としての権利に対して理解を示してくれる

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 全くあてはまらない	1	1.0	1.0	1.0
あまりあてはまらない	4	3.8	3.9	4.9
どちらともいえない	11	10.5	10.8	15.7
ややあてはまる	53	50.5	52.0	67.6
非常に当てはまる	33	31.4	32.4	100.0
合計	102	97.1	100.0	
欠損 システム欠損値	3	2.9		
値				
合計	105	100.0		

私たちの上司は信頼できる

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 全くあてはまらない	3	2.9	2.9	2.9
あまりあてはまらない	8	7.6	7.8	10.8
どちらともいえない	15	14.3	14.7	25.5
ややあてはまる	41	39.0	40.2	65.7
非常に当てはまる	35	33.3	34.3	100.0
合計	102	97.1	100.0	
欠損 システム欠損値	3	2.9		
値				
合計	105	100.0		

神経過敏に感じましたか。

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 全くない	38	36.2	37.3	37.3
少しだけ	30	28.6	29.4	66.7
ときどき	26	24.8	25.5	92.2
たいてい	7	6.7	6.9	99.0
いつも	1	1.0	1.0	100.0
合計	102	97.1	100.0	

欠損 システム欠損値	3	2.9		
値				
合計	105	100.0		

そろそろ、落ち着かなく感じましたか。

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 全くない	41	39.0	40.2	40.2
少しだけ	35	33.3	34.3	74.5
ときどき	20	19.0	19.6	94.1
たいてい	5	4.8	4.9	99.0
いつも	1	1.0	1.0	100.0
合計	102	97.1	100.0	
欠損 システム欠損値	3	2.9		
値				
合計	105	100.0		

気分が沈み込んで、何が起ころとも気が晴れないように感じましたか。

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 全くない	46	43.8	45.1	45.1
少しだけ	30	28.6	29.4	74.5
ときどき	22	21.0	21.6	96.1
たいてい	3	2.9	2.9	99.0
いつも	1	1.0	1.0	100.0
合計	102	97.1	100.0	
欠損 システム欠損値	3	2.9		
値				
合計	105	100.0		

何をするのも骨折りだと感じましたか。

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 全くない	44	41.9	43.1	43.1
少しだけ	31	29.5	30.4	73.5
ときどき	24	22.9	23.5	97.1
たいてい	2	1.9	2.0	99.0
いつも	1	1.0	1.0	100.0

合計	102	97.1	100.0
欠損 値	3	2.9	
合計	105	100.0	

絶望的だと感じましたか。

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 全くない	82	78.1	80.4	80.4
少しだけ	10	9.5	9.8	90.2
ときどき	8	7.6	7.8	98.0
たいてい	2	1.9	2.0	100.0
合計	102	97.1	100.0	
欠損 値	3	2.9		
合計	105	100.0		

自分は価値のない人間だと感じましたか。

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 全くない	76	72.4	74.5	74.5
少しだけ	18	17.1	17.6	92.2
ときどき	4	3.8	3.9	96.1
たいてい	3	2.9	2.9	99.0
いつも	1	1.0	1.0	100.0
合計	102	97.1	100.0	
欠損 値	3	2.9		
合計	105	100.0		

住民と解決すべき健康課題を共有する

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 レベル0 できない	21	20.0	21.4	21.4
レベル1 ややできない	36	34.3	36.7	58.2
レベル2 ややできる	34	32.4	34.7	92.9
レベル3 できる	7	6.7	7.1	100.0
合計	98	93.3	100.0	

欠損 値	4	3.8	
合計	7	6.7	
合計	105	100.0	

地域の関係者・組織・機関と解決すべき健康課題を共有する

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 レベル0 できない	15	14.3	15.3	15.3
レベル1 ややできない	35	33.3	35.7	51.0
レベル2 ややできる	39	37.1	39.8	90.8
レベル3 できる	9	8.6	9.2	100.0
合計	98	93.3	100.0	
欠損 値	4	3.8		
合計	7	6.7		
合計	105	100.0		

住民に施策化の必要性を説明する

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 レベル0 できない	16	15.2	16.5	16.5
レベル1 ややできない	39	37.1	40.2	56.7
レベル2 ややできる	37	35.2	38.1	94.8
レベル3 できる	5	4.8	5.2	100.0
合計	97	92.4	100.0	
欠損 値	5	4.8		
合計	3	2.9		
合計	8	7.6		
合計	105	100.0		

地域の関係者・組織・機関に施策化の必要性を説明する

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 レベル0 できない	14	13.3	14.3	14.3
レベル1 ややできない	40	38.1	40.8	55.1
レベル2 ややできる	37	35.2	37.8	92.9
レベル3 できる	7	6.7	7.1	100.0

合計		98	93.3	100.0
欠損	無回答	4	3.8	
値	システム欠損値	3	2.9	
合計		7	6.7	
合計		105	100.0	

地域住民や地域組織・地域の関係機関と施策化の必要性について合意を得る

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	レベル0 できない	17	16.2	17.3	17.3
	レベル1 ややできない	49	46.7	50.0	67.3
	レベル2 ややできる	30	28.6	30.6	98.0
	レベル3 できる	2	1.9	2.0	100.0
	合計	98	93.3	100.0	
欠損	無回答	4	3.8		
値	システム欠損値	3	2.9		
	合計	7	6.7		
合計		105	100.0		

地域住民や地域組織・地域の関係機関と施策化における役割を調整する

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	レベル0 できない	12	11.4	12.4	12.4
	レベル1 ややできない	46	43.8	47.4	59.8
	レベル2 ややできる	35	33.3	36.1	95.9
	レベル3 できる	4	3.8	4.1	100.0
	合計	97	92.4	100.0	
欠損	矛盾回答	1	1.0		
値	無回答	4	3.8		
	システム欠損値	3	2.9		
	合計	8	7.6		
合計		105	100.0		

地域住民や地域組織・地域の関係機関が施策化に参加できる機会を平等に提供する

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	レベル0 できない	12	11.4	12.4	12.4
	レベル1 ややできない	52	49.5	53.6	66.0

	レベル2 ややできる	32	30.5	33.0	99.0
	レベル3 できる	1	1.0	1.0	100.0
	合計	97	92.4	100.0	
欠損	矛盾回答	1	1.0		
値	無回答	4	3.8		
	システム欠損値	3	2.9		
	合計	8	7.6		
合計		105	100.0		

施策の進捗を地域住民や地域組織・地域の関係機関に報告する

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	レベル0 できない	10	9.5	10.3	10.3
	レベル1 ややできない	40	38.1	41.2	51.5
	レベル2 ややできる	43	41.0	44.3	95.9
	レベル3 できる	4	3.8	4.1	100.0
	合計	97	92.4	100.0	
欠損	無回答	5	4.8		
値	システム欠損値	3	2.9		
	合計	8	7.6		
合計		105	100.0		

疫学を活用して健康課題を分析する

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	レベル0 できない	43	41.0	43.9	43.9
	レベル1 ややできない	37	35.2	37.8	81.6
	レベル2 ややできる	15	14.3	15.3	96.9
	レベル3 できる	3	2.9	3.1	100.0
	合計	98	93.3	100.0	
欠損	無回答	4	3.8		
値	システム欠損値	3	2.9		
	合計	7	6.7		
合計		105	100.0		

健康課題を多角的にアセスメントする

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント

有効	レベル0	できない	37	35.2	38.5	38.5
	レベル1	ややできない	32	30.5	33.3	71.9
	レベル2	ややできる	25	23.8	26.0	97.9
	レベル3	できる	2	1.9	2.1	100.0
	合計		96	91.4	100.0	
欠損	矛盾回答		1	1.0		
値	無回答		5	4.8		
	システム欠損値		3	2.9		
	合計		9	8.6		
合計			105	100.0		

行政機関が対応すべき健康課題の優先順位を判断する

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント		
有効	レベル0	できない	24	22.9	24.5	24.5
	レベル1	ややできない	36	34.3	36.7	61.2
	レベル2	ややできる	32	30.5	32.7	93.9
	レベル3	できる	6	5.7	6.1	100.0
	合計		98	93.3	100.0	
欠損	無回答		4	3.8		
値	システム欠損値		3	2.9		
	合計		7	6.7		
合計			105	100.0		

長期的な見直しをもち健康課題の解決策を検討する

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント		
有効	レベル0	できない	27	25.7	28.1	28.1
	レベル1	ややできない	38	36.2	39.6	67.7
	レベル2	ややできる	27	25.7	28.1	95.8
	レベル3	できる	4	3.8	4.2	100.0
	合計		96	91.4	100.0	
欠損	矛盾回答		1	1.0		
値	無回答		5	4.8		
	システム欠損値		3	2.9		
	合計		9	8.6		
合計			105	100.0		

福祉・教育・環境など関連分野の施策を理解する

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント		
有効	レベル0	できない	14	13.3	14.3	14.3
	レベル1	ややできない	45	42.9	45.9	60.2
	レベル2	ややできる	35	33.3	35.7	95.9
	レベル3	できる	4	3.8	4.1	100.0
	合計		98	93.3	100.0	
欠損	無回答		4	3.8		
値	システム欠損値		3	2.9		
	合計		7	6.7		
合計			105	100.0		

施策の評価指標を明確にする

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント		
有効	レベル0	できない	24	22.9	24.5	24.5
	レベル1	ややできない	46	43.8	46.9	71.4
	レベル2	ややできる	22	21.0	22.4	93.9
	レベル3	できる	6	5.7	6.1	100.0
	合計		98	93.3	100.0	
欠損	無回答		4	3.8		
値	システム欠損値		3	2.9		
	合計		7	6.7		
合計			105	100.0		

施策化が必要な根拠を明文化する

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント		
有効	レベル0	できない	20	19.0	20.6	20.6
	レベル1	ややできない	50	47.6	51.5	72.2
	レベル2	ややできる	19	18.1	19.6	91.8
	レベル3	できる	8	7.6	8.2	100.0
	合計		97	92.4	100.0	
欠損	無回答		5	4.8		
値	システム欠損値		3	2.9		
	合計		8	7.6		
合計			105	100.0		

費用対効果の視点から施策を評価する

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 レベル0 できない	20	19.0	20.4	20.4
レベル1 ややできない	49	46.7	50.0	70.4
レベル2 ややできる	24	22.9	24.5	94.9
レベル3 できる	5	4.8	5.1	100.0
合計	98	93.3	100.0	
欠損 無回答	4	3.8		
値 システム欠損値	3	2.9		
合計	7	6.7		
合計	105	100.0		

性別

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 男性	36	34.3	35.6	35.6
女性	65	61.9	64.4	100.0
合計	101	96.2	100.0	
欠損 無回答	1	1.0		
値 システム欠損値	3	2.9		
合計	4	3.8		
合計	105	100.0		

年齢

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 22	1	1.0	1.0	1.0
24	2	1.9	2.0	3.0
25	2	1.9	2.0	5.0
26	1	1.0	1.0	6.0
27	3	2.9	3.0	9.0
28	1	1.0	1.0	10.0
30	1	1.0	1.0	11.0
31	2	1.9	2.0	13.0
33	5	4.8	5.0	18.0
34	2	1.9	2.0	20.0
35	2	1.9	2.0	22.0
36	2	1.9	2.0	24.0

37	2	1.9	2.0	26.0
38	2	1.9	2.0	28.0
39	4	3.8	4.0	32.0
40	4	3.8	4.0	36.0
41	4	3.8	4.0	40.0
42	6	5.7	6.0	46.0
43	1	1.0	1.0	47.0
44	7	6.7	7.0	54.0
45	4	3.8	4.0	58.0
46	4	3.8	4.0	62.0
47	8	7.6	8.0	70.0
48	1	1.0	1.0	71.0
49	3	2.9	3.0	74.0
50	5	4.8	5.0	79.0
51	3	2.9	3.0	82.0
52	3	2.9	3.0	85.0
53	3	2.9	3.0	88.0
54	3	2.9	3.0	91.0
55	3	2.9	3.0	94.0
57	1	1.0	1.0	95.0
58	1	1.0	1.0	96.0
59	3	2.9	3.0	99.0
63	1	1.0	1.0	100.0
合計	100	95.2	100.0	
欠損 無回答	2	1.9		
値 システム欠損値	3	2.9		
合計	5	4.8		
合計	105	100.0		

最終学歴

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 中学または高校	6	5.7	6.0	6.0
専門学校	19	18.1	19.0	25.0
短期大学または高等専門学校	23	21.9	23.0	48.0
四年生大学	49	46.7	49.0	97.0
大学院修士課程	3	2.9	3.0	100.0
合計	100	95.2	100.0	

欠損 無回答	2	1.9		
値 システム欠損値	3	2.9		
合計	5	4.8		
合計	105	100.0		

職位

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 係員	15	14.3	15.0	15.0
主事・技師	16	15.2	16.0	31.0
主任	12	11.4	12.0	43.0
主査	14	13.3	14.0	57.0
主幹・副主幹	6	5.7	6.0	63.0
係長	15	14.3	15.0	78.0
課長補佐	14	13.3	14.0	92.0
課長・部長	3	2.9	3.0	95.0
その他	5	4.8	5.0	100.0
合計	100	95.2	100.0	
欠損 無回答	2	1.9		
値 システム欠損値	3	2.9		
合計	5	4.8		
合計	105	100.0		

自由記載

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 無回答	100	95.2	96.2	96.2
参事（課長補佐級）	1	1.0	1.0	97.1
主事補	1	1.0	1.0	98.1
副保健師長	1	1.0	1.0	99.0
保健師	1	1.0	1.0	100.0
合計	104	99.0	100.0	
欠損 99	1	1.0		
値				
合計	105	100.0		

職種

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 事務職	42	40.0	41.6	41.6
医療・福祉専門職	59	56.2	58.4	100.0
合計	101	96.2	100.0	
欠損 無回答	1	1.0		
値 システム欠損値	3	2.9		
合計	4	3.8		
合計	105	100.0		

職種：保健師（回答は医療・福祉専門職のみ）

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 いいえ	5	4.8	8.5	8.5
はい	54	51.4	91.5	100.0
合計	59	56.2	100.0	
欠損 システム欠損値	46	43.8		
値				
合計	105	100.0		

職種：看護師（回答は医療・福祉専門職のみ）

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 いいえ	56	53.3	94.9	94.9
はい	3	2.9	5.1	100.0
合計	59	56.2	100.0	
欠損 システム欠損値	46	43.8		
値				
合計	105	100.0		

職種：栄養士/管理栄養士（回答は医療・福祉専門職のみ）

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 いいえ	59	56.2	100.0	100.0
欠損 システム欠損値	46	43.8		
値				
合計	105	100.0		



職種：歯科衛生士（回答は医療・福祉専門職のみ）

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 いいえ	59	56.2	100.0	100.0
欠損 システム欠損値	46	43.8		
値				
合計	105	100.0		

職種：臨床心理士（回答は医療・福祉専門職のみ）

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 いいえ	59	56.2	100.0	100.0
欠損 システム欠損値	46	43.8		
値				
合計	105	100.0		

職種：理学療法士・作業療法士（回答は医療・福祉専門職のみ）

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 いいえ	59	56.2	100.0	100.0
欠損 システム欠損値	46	43.8		
値				
合計	105	100.0		

職種：社会福祉士（回答は医療・福祉専門職のみ）

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 いいえ	55	52.4	93.2	93.2
はい	4	3.8	6.8	100.0
合計	59	56.2	100.0	
欠損 システム欠損値	46	43.8		
値				
合計	105	100.0		

職種：介護福祉士（回答は医療・福祉専門職のみ）

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 いいえ	59	56.2	100.0	100.0

欠損 システム欠損値	46	43.8		
値				
合計	105	100.0		

職種：その他（回答は医療・福祉専門職のみ）

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 いいえ	57	54.3	96.6	96.6
はい	2	1.9	3.4	100.0
合計	59	56.2	100.0	
欠損 システム欠損値	46	43.8		
値				
合計	105	100.0		

自由記載

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効	103	98.1	98.1	98.1
主任ケアマネ	1	1.0	1.0	99.0
精神保健福祉士	1	1.0	1.0	100.0
合計	105	100.0	100.0	

保健師の業務体制

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 業務担当制	12	11.4	23.5	23.5
地区担当・業務担当併用制	39	37.1	76.5	100.0
合計	51	48.6	100.0	
欠損 無回答	3	2.9		
値 システム欠損値	51	48.6		
合計	54	51.4		
合計	105	100.0		

現在【感染症対策】業務を行っている（回答は保健師のみ）

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 いいえ	49	46.7	92.5	92.5

はい	4	3.8	7.5	100.0
合計	53	50.5	100.0	
欠損 無回答	1	1.0		
値 システム欠損値	51	48.6		
合計	52	49.5		
合計	105	100.0		

現在【予防接種】業務を行っている（回答は保健師のみ）

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 いいえ	48	45.7	90.6	90.6
はい	5	4.8	9.4	100.0
合計	53	50.5	100.0	
欠損 無回答	1	1.0		
値 システム欠損値	51	48.6		
合計	52	49.5		
合計	105	100.0		

現在【母子保健】業務を行っている（回答は保健師のみ）

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 いいえ	44	41.9	83.0	83.0
はい	9	8.6	17.0	100.0
合計	53	50.5	100.0	
欠損 無回答	1	1.0		
値 システム欠損値	51	48.6		
合計	52	49.5		
合計	105	100.0		

現在【健康診断】業務を行っている（回答は保健師のみ）

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 いいえ	47	44.8	88.7	88.7
はい	6	5.7	11.3	100.0
合計	53	50.5	100.0	
欠損 無回答	1	1.0		
値 システム欠損値	51	48.6		
合計	52	49.5		

合計	105	100.0		
----	-----	-------	--	--

現在【介護予防】業務を行っている（回答は保健師のみ）

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 いいえ	12	11.4	22.6	22.6
はい	41	39.0	77.4	100.0
合計	53	50.5	100.0	
欠損 無回答	1	1.0		
値 システム欠損値	51	48.6		
合計	52	49.5		
合計	105	100.0		

現在【精神保健】業務を行っている（回答は保健師のみ）

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 いいえ	44	41.9	83.0	83.0
はい	9	8.6	17.0	100.0
合計	53	50.5	100.0	
欠損 無回答	1	1.0		
値 システム欠損値	51	48.6		
合計	52	49.5		
合計	105	100.0		

現在【歯科保健】業務を行っている（回答は保健師のみ）

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 いいえ	46	43.8	86.8	86.8
はい	7	6.7	13.2	100.0
合計	53	50.5	100.0	
欠損 無回答	1	1.0		
値 システム欠損値	51	48.6		
合計	52	49.5		
合計	105	100.0		

現在【障がい者福祉】業務を行っている（回答は保健師のみ）

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
--	----	-----------	-------------	-------------

有効	いいえ	50	47.6	96.2	96.2
	はい	2	1.9	3.8	100.0
	合計	52	49.5	100.0	
欠損	無回答	1	1.0		
値	システム欠損値	52	49.5		
	合計	53	50.5		
合計		105	100.0		

現在【高齢者福祉】業務を行っている（回答は保健師のみ）

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	28	26.7	52.8
	はい	25	23.8	47.2
	合計	53	50.5	100.0
欠損	無回答	1	1.0	
値	システム欠損値	51	48.6	
	合計	52	49.5	
合計		105	100.0	

現在【その他】の業務を行っている（回答は保健師のみ）

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	47	44.8	88.7
	はい	6	5.7	11.3
	合計	53	50.5	100.0
欠損	無回答	1	1.0	
値	システム欠損値	51	48.6	
	合計	52	49.5	
合計		105	100.0	

自由記載

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	無回答	99	94.3	94.3
	健康づくり	1	1.0	95.2
	自殺対策	1	1.0	96.2
	地域包括ケアシステムの構築に関すること	1	1.0	97.1

地域包括支援センター	1	1.0	1.0	98.1
認知症対策	1	1.0	1.0	99.0
包括的支援業務	1	1.0	1.0	100.0
合計	105	100.0	100.0	

勤務年数

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	0	19	18.1	19.2
	1	16	15.2	16.2
	2	18	17.1	18.2
	3	12	11.4	12.1
	4	6	5.7	6.1
	5	3	2.9	3.0
	6	6	5.7	6.1
	7	2	1.9	2.0
	8	6	5.7	6.1
	9	3	2.9	3.0
	10	1	1.0	1.0
	11	3	2.9	3.0
	15	1	1.0	1.0
	16	1	1.0	1.0
	17	1	1.0	1.0
	27	1	1.0	1.0
	合計	99	94.3	100.0
欠損	矛盾回答	1	1.0	
値	無回答	2	1.9	
	システム欠損値	3	2.9	
	合計	6	5.7	
合計		105	100.0	

勤務月数

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	0	2	1.9	2.0
	1	1	1.0	1.0
	4	4	3.8	4.0
	5	44	41.9	44.4

6	37	35.2	37.4	88.9
7	3	2.9	3.0	91.9
8	4	3.8	4.0	96.0
9	1	1.0	1.0	97.0
10	1	1.0	1.0	98.0
11	2	1.9	2.0	100.0
合計	99	94.3	100.0	
欠損 無回答	2	1.9		
値 システム欠損値	4	3.8		
合計	6	5.7		
合計	105	100.0		

現在勤務する自治体に居住しているか

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 1	63	60.0	62.4	62.4
2	38	36.2	37.6	100.0
合計	101	96.2	100.0	
欠損 無回答	1	1.0		
値 システム欠損値	3	2.9		
合計	4	3.8		
合計	105	100.0		

就職前に居住した年数

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 0	40	38.1	40.0	40.0
1	2	1.9	2.0	42.0
3	1	1.0	1.0	43.0
4	2	1.9	2.0	45.0
5	1	1.0	1.0	46.0
6	2	1.9	2.0	48.0
7	1	1.0	1.0	49.0
9	1	1.0	1.0	50.0
12	1	1.0	1.0	51.0
15	1	1.0	1.0	52.0
17	1	1.0	1.0	53.0
18	16	15.2	16.0	69.0
19	4	3.8	4.0	73.0

20	6	5.7	6.0	79.0
21	1	1.0	1.0	80.0
22	6	5.7	6.0	86.0
23	5	4.8	5.0	91.0
24	6	5.7	6.0	97.0
30	1	1.0	1.0	98.0
34	1	1.0	1.0	99.0
40	1	1.0	1.0	100.0
合計	100	95.2	100.0	
欠損 無回答	2	1.9		
値 システム欠損値	3	2.9		
合計	5	4.8		
合計	105	100.0		

就職後に居住した年数

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 0	28	26.7	28.0	28.0
1	2	1.9	2.0	30.0
2	6	5.7	6.0	36.0
3	1	1.0	1.0	37.0
4	1	1.0	1.0	38.0
5	4	3.8	4.0	42.0
6	5	4.8	5.0	47.0
8	1	1.0	1.0	48.0
9	1	1.0	1.0	49.0
10	5	4.8	5.0	54.0
11	2	1.9	2.0	56.0
12	1	1.0	1.0	57.0
15	3	2.9	3.0	60.0
16	3	2.9	3.0	63.0
17	2	1.9	2.0	65.0
18	2	1.9	2.0	67.0
19	3	2.9	3.0	70.0
20	3	2.9	3.0	73.0
21	2	1.9	2.0	75.0
22	3	2.9	3.0	78.0
23	1	1.0	1.0	79.0
24	3	2.9	3.0	82.0

25	3	2.9	3.0	85.0
26	1	1.0	1.0	86.0
27	2	1.9	2.0	88.0
28	1	1.0	1.0	89.0
29	3	2.9	3.0	92.0
30	1	1.0	1.0	93.0
31	2	1.9	2.0	95.0
32	1	1.0	1.0	96.0
35	1	1.0	1.0	97.0
36	1	1.0	1.0	98.0
38	1	1.0	1.0	99.0
39	1	1.0	1.0	100.0
合計	100	95.2	100.0	
欠損	2	1.9		
値	3	2.9		
システム欠損値				
合計	5	4.8		
合計	105	100.0		

就職後に居住した月数

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 0	50	47.6	50.0	50.0
2	1	1.0	1.0	51.0
3	1	1.0	1.0	52.0
4	1	1.0	1.0	53.0
5	23	21.9	23.0	76.0
6	15	14.3	15.0	91.0
7	3	2.9	3.0	94.0
8	2	1.9	2.0	96.0
9	1	1.0	1.0	97.0
10	1	1.0	1.0	98.0
11	2	1.9	2.0	100.0
合計	100	95.2	100.0	
欠損	2	1.9		
値	3	2.9		
システム欠損値				
合計	5	4.8		
合計	105	100.0		

介護予防事業計画策定に関与しているか

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 はい	79	75.2	79.8	79.8
いいえ	20	19.0	20.2	100.0
合計	99	94.3	100.0	
欠損	3	2.9		
値	3	2.9		
システム欠損値				
合計	6	5.7		
合計	105	100.0		

以前【現在の課内の他の係】に勤めた年数

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 0	73	69.5	76.0	76.0
1	4	3.8	4.2	80.2
2	4	3.8	4.2	84.4
3	2	1.9	2.1	86.5
4	2	1.9	2.1	88.5
5	2	1.9	2.1	90.6
6	1	1.0	1.0	91.7
8	1	1.0	1.0	92.7
10	2	1.9	2.1	94.8
13	1	1.0	1.0	95.8
15	1	1.0	1.0	96.9
17	1	1.0	1.0	97.9
23	1	1.0	1.0	99.0
31	1	1.0	1.0	100.0
合計	96	91.4	100.0	
欠損	4	3.8		
値	2	1.9		
システム欠損値	3	2.9		
合計	9	8.6		
合計	105	100.0		

以前【行政内の他の課】に勤めた年数

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 0	29	27.6	29.0	29.0
1	1	1.0	1.0	30.0

2		4	3.8	4.0	34.0
3		3	2.9	3.0	37.0
4		3	2.9	3.0	40.0
5		4	3.8	4.0	44.0
6		1	1.0	1.0	45.0
7		3	2.9	3.0	48.0
8		1	1.0	1.0	49.0
9		2	1.9	2.0	51.0
10		4	3.8	4.0	55.0
11		3	2.9	3.0	58.0
12		1	1.0	1.0	59.0
13		2	1.9	2.0	61.0
14		1	1.0	1.0	62.0
15		4	3.8	4.0	66.0
16		4	3.8	4.0	70.0
17		2	1.9	2.0	72.0
18		2	1.9	2.0	74.0
19		4	3.8	4.0	78.0
20		7	6.7	7.0	85.0
21		2	1.9	2.0	87.0
22		4	3.8	4.0	91.0
23		1	1.0	1.0	92.0
24		2	1.9	2.0	94.0
26		2	1.9	2.0	96.0
28		2	1.9	2.0	98.0
33		1	1.0	1.0	99.0
34		1	1.0	1.0	100.0
合計		100	95.2	100.0	
欠損	無回答	2	1.9		
値	システム欠損値	3	2.9		
合計		5	4.8		
合計		105	100.0		

以前【地域包括支援センター】に勤めた年数

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 .0	76	72.4	76.0	76.0
.5	1	1.0	1.0	77.0
1.0	1	1.0	1.0	78.0

2.0	2	1.9	2.0	80.0
3.0	1	1.0	1.0	81.0
現在勤めている	19	18.1	19.0	100.0
合計	100	95.2	100.0	
欠損	無回答	2	1.9	
値	システム欠損値	3	2.9	
合計	5	4.8		
合計	105	100.0		

以前【保健所】に勤めた年数

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 0	96	91.4	95.0	95.0
2	1	1.0	1.0	96.0
3	1	1.0	1.0	97.0
8	1	1.0	1.0	98.0
12	1	1.0	1.0	99.0
27	1	1.0	1.0	100.0
合計	101	96.2	100.0	
欠損	無回答	1	1.0	
値	システム欠損値	3	2.9	
合計	4	3.8		
合計	105	100.0		

以前【学校・養育施設・児童相談所】に勤めた年数

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 .0	97	92.4	96.0	96.0
2.0	1	1.0	1.0	97.0
2.5	1	1.0	1.0	98.0
3.0	1	1.0	1.0	99.0
19.0	1	1.0	1.0	100.0
合計	101	96.2	100.0	
欠損	無回答	1	1.0	
値	システム欠損値	3	2.9	
合計	4	3.8		
合計	105	100.0		

以前【介護施設】に勤めた年数

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 .0	96	91.4	95.0	95.0
2.0	1	1.0	1.0	96.0
3.5	1	1.0	1.0	97.0
4.0	1	1.0	1.0	98.0
15.0	1	1.0	1.0	99.0
19.0	1	1.0	1.0	100.0
合計	101	96.2	100.0	
欠損 無回答	1	1.0		
値 システム欠損値	3	2.9		
合計	4	3.8		
合計	105	100.0		

以前【病院】に勤めた年数

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 0	79	75.2	79.0	79.0
1	5	4.8	5.0	84.0
2	4	3.8	4.0	88.0
3	2	1.9	2.0	90.0
4	3	2.9	3.0	93.0
5	2	1.9	2.0	95.0
6	2	1.9	2.0	97.0
7	2	1.9	2.0	99.0
15	1	1.0	1.0	100.0
合計	100	95.2	100.0	
欠損 無回答	2	1.9		
値 システム欠損値	3	2.9		
合計	5	4.8		
合計	105	100.0		

以前【企業（現在の自治体内）】に勤めた年数

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 0	98	93.3	97.0	97.0
1	1	1.0	1.0	98.0
4	1	1.0	1.0	99.0
9	1	1.0	1.0	100.0

合計	101	96.2	100.0
欠損 無回答	1	1.0	
値 システム欠損値	3	2.9	
合計	4	3.8	
合計	105	100.0	

以前【企業（現在の自治体外）】に勤めた年数

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 0	92	87.6	91.1	91.1
1	1	1.0	1.0	92.1
2	4	3.8	4.0	96.0
3	1	1.0	1.0	97.0
4	1	1.0	1.0	98.0
5	1	1.0	1.0	99.0
6	1	1.0	1.0	100.0
合計	101	96.2	100.0	
欠損 無回答	1	1.0		
値 システム欠損値	3	2.9		
合計	4	3.8		
合計	105	100.0		

以前【健保組合】に勤めた年数

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 0	101	96.2	100.0	100.0
欠損 無回答	1	1.0		
値 システム欠損値	3	2.9		
合計	4	3.8		
合計	105	100.0		

以前【その他の場所】に勤めた年数

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効 0	92	87.6	92.0	92.0
2	4	3.8	4.0	96.0
3	1	1.0	1.0	97.0
4	1	1.0	1.0	98.0

11	1	1.0	1.0	99.0
13	1	1.0	1.0	100.0
合計	100	95.2	100.0	
欠損	2	1.9		
値	3	2.9		
合計	5	4.8		
合計	105	100.0		

あまり参加すべきでない	2	1.9	2.0	98.0
全く参加すべきでない	2	1.9	2.0	100.0
合計	101	96.2	100.0	
欠損	1	1.0		
値	3	2.9		
合計	4	3.8		
合計	105	100.0		

自由記載

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効	97	92.4	92.4	92.4
社会福祉協議会	2	1.9	1.9	94.3
他の行政	1	1.0	1.0	95.2
他の自治体	1	1.0	1.0	96.2
他市町村	1	1.0	1.0	97.1
大学	1	1.0	1.0	98.1
知的障害者入所施設	1	1.0	1.0	99.0
派遣	1	1.0	1.0	100.0
合計	105	100.0	100.0	

個人評価結果の受け取りを希望するか

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効	54	51.4	53.5	53.5
希望する	47	44.8	46.5	100.0
希望しない	101	96.2	100.0	
合計	101	96.2	100.0	
欠損	1	1.0		
値	3	2.9		
合計	4	3.8		
合計	105	100.0		

現在の部署・職場以外に勤めたことがない

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効	94	89.5	93.1	93.1
いいえ	7	6.7	6.9	100.0
はい	101	96.2	100.0	
合計	101	96.2	100.0	
欠損	1	1.0		
値	3	2.9		
合計	4	3.8		
合計	105	100.0		

自身の自治体が JAGES の次回調査に参加すべきと思うか

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効	26	24.8	25.7	25.7
ぜひ参加すべきだ	39	37.1	38.6	64.4
まあ参加すべきだ	32	30.5	31.7	96.0
どちらともいえない				

可住地人口密度

	度数	パーセン ト	有効パー セント	累積パー セント
有効	1	1.0	1.0	1.0
34.83	2	1.9	2.0	2.9
79.72	2	1.9	2.0	4.9
105.86	4	3.8	3.9	8.8
152.85	2	1.9	2.0	10.8
171.82	3	2.9	2.9	13.7
322.33	2	1.9	2.0	15.7
353.05	3	2.9	2.9	18.6
369.94	4	3.8	3.9	22.5
413.79	1	1.0	1.0	23.5
418.89	5	4.8	4.9	28.4
474.74	4	3.8	3.9	32.4
721.02	2	1.9	2.0	34.3
748.05	3	2.9	2.9	37.3
945.58	3	2.9	2.9	40.2
967.82	5	4.8	4.9	45.1
1076.91	7	6.7	6.9	52.0
1191.40				

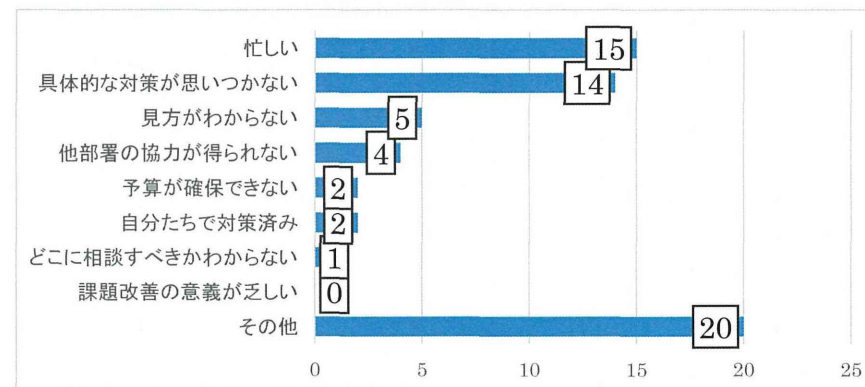


1211.56	3	2.9	2.9	54.9
1221.62	3	2.9	2.9	57.8
1354.17	3	2.9	2.9	60.8
1689.85	1	1.0	1.0	61.8
1721.74	7	6.7	6.9	68.6
1835.84	4	3.8	3.9	72.5
1960.41	1	1.0	1.0	73.5
2008.31	2	1.9	2.0	75.5
2532.69	8	7.6	7.8	83.3
2589.97	3	2.9	2.9	86.3
2615.80	1	1.0	1.0	87.3
3981.59	3	2.9	2.9	90.2
4724.93	3	2.9	2.9	93.1
7186.28	3	2.9	2.9	96.1
9238.10	4	3.8	3.9	100.0
合計	102	97.1	100.0	
欠損システム欠損値	3	2.9		
合計	105	100.0		

JAGES 参加年度

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 2003 年度調査	30	28.6	28.6	28.6
2010 年度調査	49	46.7	46.7	75.2
2013 年度調査	26	24.8	24.8	100.0
合計	105	100.0	100.0	

図：地域診断書を取り組みに活かさない理由



その他（自由記載）：

これから具体的に取組みを始めるため、今は何とも言えない  
 研究者の先生方にデータを言語化して、地域の特徴を出してもらいそれを大いに活用しています。地域診断書そのままでは、難しいです。  
 日常的に接していない。  
 共有するのが難しい  
 結果を受け取ってから日も浅く、活用はこれからだと考えています。  
 他部署（健康推進課）が主となり行っているため。  
 印刷しにくい。コピー貼りつけの利用ができず加工しにくい。前回データが入っていない。数値自体一般の方々に伝えにくい。  
 目立った特徴を拾い切れなかったから  
 課題が大きすぎて、こちらだけでは対応が難しいため。  
 平成 29 年までに体制づくり業務に活かしていくつもりです  
 まだ判断しかねる  
 他の新規事業への対応に手いっぱいだから  
 参考にはなるが地域診断書のみで業務検討をするわけではないのでまだ活用には至っていない  
 項目の妥当性が不明  
 今後活かしていきたい  
 計画策定期と結果が分かる時期の問題で。

業務項目名：

- ② 地域診断と見える化ツールを活用した介護予防施策マネジメント・パッケージの開発  
e. 介入効果の評価

自治体の健康格差対策として優先的に取り組むべき課題についての検討

研究協力者	長谷田 真帆	東京大学大学院医学系研究科
研究協力者	芦田 登代	東京大学大学院医学系研究科
業務主任者	近藤 尚己	東京大学大学院医学系研究科 准教授
担当責任者	斎藤雅茂	日本福祉大学社会福祉学部 准教授

## 研究要旨

### 【目的】

健康格差の縮小のために、要介護状態のリスク要因として挙げられている複数の健康指標のうち、各市町村が最も優先して取り組むべき課題が何であることを明らかにすること。

### 【方法】

日本老年学的評価研究(JAGES)2013年のデータを用いて、市町村ごとに等価所得三分位に分け、日本老年学的評価研究による健康の公平性評価・対応ツール（JAGES HEART）の環境と行動に関する指標20項目について、各所得群における割合を算出した。その後、高所得群と低所得群の割合の差と割合の比を求め、市区町村ごとの値を比較した。

### 【結果】

所得間での各指標を比較した際に、最も割合の比が大きかったのは、高所得層に対する低所得層の「抑うつ状態の人の割合」が男性3.94倍、女性3.22倍であり、同様に「閉じこもりの人の割合」が男性2.29倍、女性1.48倍であった。

### 【結語】

様々な健康指標の所得間格差を比較したところ、男性の抑うつ症状と閉じこもりの割合が、最も格差が大きい指標であった。市町村における健康格差対策として、この二つが最も優先度の高い健康課題であると考えられる。

## A. 研究目的

従来、所得などの社会階層によって健康状態に差が生じる「健康格差」が世界中で問題となっている<sup>1)</sup>。日本においても様々な健康格差の存在が実証されており、2013年より開始

された健康日本21(第二次)においても、健康寿命の延伸と健康格差の縮小が、市町村が取り組むべき目標として掲げられている<sup>2)</sup>。また昨今、高齢者の身体的な健康状態に加え、精神的健康や社会環境などの様々な要因が、要

介護状態と関連があることが明らかになってきている<sup>3)</sup>。

しかし、多くの健康指標が存在する中で、各市町村が介護予防による健康寿命の延伸や、健康格差縮小に向けた施策に反映するための、優先すべき課題は示されていない。

そこで本研究の目的は、所得階層ごとの各健康関連指標の割合を求めること、また市町村間で比較を行うことによって、各健康格差の大きさを可視化して効果的に対策を進められるように、課題に優先順位をつけることである。

## B. 研究方法

### 対象・使用したデータセット

65歳以上の介護認定を受けていない方を対象に行っている日本老年学的評価研究 (Japan Gerontological Evaluation Study : JAGES) の2013年度調査のデータセット。本調査では30市町村に居住している195290人を対象に、2013年10月から12月にかけて自記式質問票を用いた郵送調査を行い、138293人から回答を得た (回収率70.8%)。このうち、所得の回答に欠損のない105389人を解析の対象とした。

### 使用した指標

WHOのUrban HEART(都市における健康の公平性評価・対応ツール)の日本の高齢者版としてWHO神戸センターとJAGESが共同で開発した、日本老年学的評価研究による健康の公平性評価・対応ツール (JAGES HEART)の環境と行動に関する指標20項目(今の生活に満足している人の割合、自分が幸せだと思っている人の割合、抑うつ状態の人の割合 (GDS15項目版で10点以上)、1年に1度以上転んだことがある人の割合、歯が1本もない人の割合、主観的健康観が悪い人の割合、やせの人の割合 (BMI 18.5未満)、もの忘れ

の自覚のある人の割合、健診未受診の人の割合、現在喫煙している人の割合、閉じこもりの人の割合 (外出頻度が週に1回未満)、1日の平均歩行時間30分未満の人の割合、ボランティアグループ(①)に月1回以上参加している人の割合、趣味関係のグループ(②)に月1回以上参加している人の割合、スポーツの会(③)に月1回以上参加している人の割合、老人クラブ(④)に月1回以上参加している人の割合、上記①~④のどれかの会に月1回以上参加している人の割合、助け合っている人がいる人の割合、交流する友人がいる人の割合、一般的に自分の地域の人はかなり・まあ信頼できると思っている人の割合)。

### 分析方法

各指標の質問項目に回答している者について、等価所得で三分位に分け、それぞれの所得層における上記各指標の割合(直接法による年齢調整値)を算出した。その後、高所得群と低所得群の割合の差と割合の比を求め、値を比較した。

(倫理面の配慮)

本研究は東京大学医学部倫理審査委員会の承認を得た (番号10555)。

## C. 研究結果

各指標に該当した人数は表1の通り。各指標を算出すると、どの健康指標にも所得による勾配が見られた。ポジティブな指標では高所得者層ほど割合が高かった (例:「今の生活に満足している人の割合」では低所得層72.9%、中所得層82.1%、高所得層88.7%)。反対に、ネガティブな指標 (「うつ」や「健診未受診」など) では低所得者層の割合が高くなっていた (表2)。

検討した指標 (環境・行動) のなかで、高

所得層と低所得層とを比較すると、男女ともに大きな割合の差が見られたのは「今の生活に満足している人の割合」男性15.8%ポイント、女性13.3%ポイント、「地域の人は一般的に信頼できると思う人の割合」男性14.4%ポイント、女性13.9%ポイントであった（表3）。割合の比で見ると、高所得層に対する低所得層の「抑うつ状態の人の割合」が男性3.94倍、女性3.22倍であり、同様に「閉じこもりの人の割合」が男性2.29倍、女性1.48倍であった（表4）。

#### D. 考察

様々な健康指標を使って所得間格差を算出し、課題の優先順位を付けた結果、「抑うつ症状」と「閉じこもり」についての格差が大きく見られ、優先的に取り組む必要性、ならびにそれによって健康格差の縮小が期待できることが示唆された。

今回は簡便な格差指標である「割合の差」と「割合の比」を用いた。「割合の差」は特に誤差が大きいため、「割合の比」が最も大きい「抑うつ症状」と「閉じこもり」を優先的に取り組むべき課題であると考えた。しかし、「割合の差」も「割合の比」も、群の人数が考慮できない、最も所得が高い群と低い群以外の群(今回の分析では中間所得群)についての情報を考慮していない、群中の人数が少ない場合には精度が低いおそれがある、などの欠点がある。従って、今後は他の格差指標も使い、それぞれの指標の長所・短所を踏まえたうえで更なる検討が必要と考える。

また継続的なモニタリングによる格差の動向や、このような健康格差が生じている要因についての分析も今後合わせて行っていくことが必要である。

#### E. 結論

様々な健康指標の所得間格差を比較したと

ころ、男性の抑うつ症状と閉じこもりの割合が、最も格差が大きい指標であることが明らかになった。市町村における健康格差対策として、この二つに対して優先的に取り組むことが、最も効果的であると考えられる。

#### F. 研究発表

1. 口演発表：Toyo Ashida, Naoki Kondo, Maho Haseda, Kastunori Kondo, JAGES project. What health measures show large disparity by income levels? : prioritizing the targets of long-term care prevention. 第25回日本疫学会学術総会, 名古屋. 2015年1月23日

#### G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

- 1.特許取得  
なし
- 2.実用新案登録  
なし
- 3.その他  
なし

#### <引用文献>

1) WHO Commission on Social Determinants of Health 2008. "*Closing the gap in a generation: health equity through action on the social determinants of health. Final Report of the Commission on Social Determinants of Health*" Geneva: World Health Organization.

2)厚生労働省. 健康日本21(第二次)の推進に関する参考資料.pp24.

[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/dl/kenkou\\_nippon21\\_02.pdf](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/dl/kenkou_nippon21_02.pdf) (2015年3月1日最終アクセス)